

P 日本史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(3と解答する場合)

I. 次の文1～5を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしろ。

1. 蘇我馬子と、推古天皇の甥である厩戸皇子らは協力して中央集権の政治体制を整えた。厩戸皇子が亡くなると、勢力を拡大してきたのが蘇我蝦夷・入鹿であった。蘇我入鹿らは、有力な皇位継承者であった（イ）を滅ぼし、さらに力をつけたが、中大兄皇子と中臣鎌足らによって滅ぼされた。中大兄皇子は唐にならい中央集権国家を目指し、様々な改革をおこなった。その後齊明天皇が亡くなると、中大兄皇子は即位して天皇になる前に政治を執りおこなった。この政治の執り方を（ロ）と呼ぶ。中大兄皇子は即位して天智天皇となってから、初めて全国的な戸籍である庚午年籍を作成した。その弟の天武天皇は（ハ）を制定することで、天皇を中心とした新しい身分秩序に豪族たちを再編した。その後、律令制度が整えられ、新しい国家体制が確立されていった。³⁾
2. 平安時代に入ると天皇家との結びつきを強めた藤原氏に権力が移行した。藤原氏は天皇の側近として政治で重要な役割をはたすようになった。そのころには、庶民の間で偽籍が横行し、調庸を負担する男子が少なくなるなどして財政が窮乏した。このことについては、（ニ）が上奏した『意見封事十二箇条』に記されている。政府はやがて一定額の納税と引き換えに国司に現地の統治を任せるようになった。受領と呼ばれるようになった国司のなかには、⁴⁾『今昔物語集』に記載されている（ホ）のように強欲なものもいた。『今昔物語集』では、（ホ）が谷底に落ちてでもそこに生えている平茸をとることを忘れず、「受領は倒れるところに土をもつかめ」と言ったとされている。平安時代後期になると、皇位を早期にゆずり上皇として政治を執りおこなうものがあらわれた。この時代の上皇は深く仏教に帰依し、出家して法皇となることが多かった。財力を用いて天皇・上皇らは六勝寺の建立を行い、しばしば熊野・高野に参詣した。熊野詣では、熊野本宮・新宮・⁵⁾（ヘ）の3大社への参詣がおこなわれた。
3. 鎌倉時代の政治体制は、将軍と御家人との主従関係を柱とした封建制度にもとづいていた。源頼朝の死去後に将軍となった源頼家は、御家人の信望をえることができなかった。その中で実権を握ったのが北条時政であった。北条時政は源頼家を廃し、弟の源実朝を将軍に就かせると、みずから政所の長官となり、執権政治への道をひらいた。3代目執権である（ト）は、執権の補佐役として連署⁶⁾を設置し、御家人等から選ばれた評定衆を加えた合議により、政務と裁判をおこなった。そして、源頼朝以降の先例と武家の慣習（道理）を裁判の基準として成文化した貞永式目を制定した。鎌倉時代後期に⁷⁾

なると、幕府は元軍との戦いで軍功を挙げた武士たちの恩賞要求に充分に応えることができず、御家人は困窮し、不満は高まった。幕府は1297年に永仁の徳政令を出し、所領を御家人に返却するよう命じたが、この徳政令は一時的な効果しか発揮できなかった。また、同時期に所領を失った地頭・非御家人などが形成した悪党と呼ばれる集団の動きは各地へ広がり、幕府の支配基盤は弱体化していった。⁸⁾

4. 鎌倉幕府が滅び、室町幕府が成立すると、幕府は將軍を補佐する管領という新しい役職をおいた。また、鎌倉幕府と同様に政所・侍所・間注所などをおいた。そして国ごとに守護をおき、要所にはそれぞれ家格の高い一門を送って軍事・行政の実権を握らせ、東国には足利基氏を（チ）として派遣した。また幕府は、内裏の造営など国家的行事の際には、守護を通して全国的に税を賦課することもあった。そうした税の中でも、家屋に対して賦課された税のことを（リ）という。6代將軍足利義教への代替わりの頃になると、疫病が発生し、飢饉などにより社会不安が高まった。このような情勢のなか、京都・近江の民衆が酒屋や土倉、寺院などを襲い、債務放棄や土地を取り戻すなど、実力による徳政を勝ちとった。これがいわゆる（ヌ）の土一揆である。これを背景に、国人・農民らが守護（ル）の軍勢に対して国外退去を要求した播磨の土一揆がおこった。さらにその後（ル）が將軍足利義教を暗殺したことをきっかけに、嘉吉の徳政一揆がおこった。頻発する土一揆に対して幕府はその後、債務・債権額の一部を（ヲ）として幕府に納入することを条件に、債務の放棄、債権の保護をそれぞれ認めた。その後、加賀では、本願寺門徒を中心とした一向宗徒が、国衆とともに一揆をおこして守護富樫政親を滅ぼし、織田信長の家臣（ワ）がその一向一揆を平定するまでの1世紀近く、国内を支配した。

5. 江戸時代中頃になると、8代將軍徳川吉宗は社会の変化に対応した改革をおこなった。徳川吉宗はまず側用人政治を廃止し、新田開発、年貢増徴など、財政再建に力をいれ、幕政全般において改革をおこなった。これを享保の改革という。改革により財政再建など一定の成果を挙げた吉宗だったが、物価高騰は防げず、年貢増徴策や飢饉の影響もあり、百姓の生活は困窮した。このような状況下で百姓は一揆をおこした。村の代表者が村の要求を領主などに直訴する代表越訴型一揆や、村を捨て他領や山中に集団逃亡する（カ）で百姓は対抗したが、18世紀頃になると村の百姓全員が参加する惣百姓一揆が多くなった。¹⁰⁾

A. 文中の空所(イ)～(カ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～11)にそれぞれ対応する次の問1～11に答えよ。

1. これに関する記述として正しくないのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 冠位十二階の制定の契機のひとつは、外交において位階の高さが重視されたことにある
- b. 冠位十二階は、後に官人が増加し、政治組織が発達したため、冠位の階数を減らすこととなった
- c. 憲法十七条では、「国司・国造」による百姓への不当な課税をいましめていた
- d. 憲法十七条は仏教・儒教の教えに基づき官僚の心構えを説いていた

2. この天皇は重祚している。次の重祚①・②について、空所<あ>～<う>それぞれにあてはまる適当な語句を、下記のa～hから1つずつ選び、その記号をマークせよ。ただし、同じ記号を2度用いてはならない。

① < あ >天皇 → 齐明天皇

② < い >天皇 → < う >天皇

- a. 皇極 b. 孝謙 c. 光仁 d. 弘文
- e. 淳仁 f. 称徳 g. 舒明 h. 仁明

3. これに関する記述として正しくないのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 計帳には「左目上黒子」など身体的特徴も記されており、逃亡したときに捕らえたりするための人相書としての役割もあった
- b. 死刑を執行するには天皇に3度上奏しなければならなかった
- c. 調・庸などの税は位階の有無に関わらず、平等に課せられた
- d. 兵役に就く兵士の武器や食料は、原則自己負担であった

4. これに関する記述として正しくないのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 尾張国の国司であった藤原元命は、有力農民や郡司から苛政を訴えられ解任された
- b. 公田を新たに「名」と呼ばれる課税単位に編成した
- c. 受領が課税する際には、律令で定められた範囲を越えることはなかった
- d. 有力農民の中には国司と結んで力をつけ、大規模経営をおこなうものも現れた

5. これは天皇等の御願寺からなる6つの寺の総称である。尊勝寺、最勝寺、円勝寺、成勝寺、延勝寺のほか、残り1つの寺の名をしるせ。
6. この政治がおこなわれていた時期に関する記述として正しいのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 大田文が幕府の指示によって諸国で作成されるようになった
 - b. 後鳥羽上皇は有職故実の書である『禁秘抄』を書き上げた
 - c. 後鳥羽上皇は北面の武士を新たに配置し、軍事力の強化をはかった
 - d. 当時の家族制度では女性の地位は高かったが、女性が御家人になることはなかった
7. 次の史料は、貞永式目の引用である。文中の空所①・②それぞれにあてはまる語句の組み合わせとして正しいのはどれか。下記のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。なお、史料中の表記は一部を改めている。
- 一、 諸国守護人奉行の事
- 右、の御時定め置かるる所は、大番催促・謀叛・殺害人（中略）の事なり。
（以下、略）
- 一、 御下文を帯すと雖も知行せしめず、年序を経る所領の事
- 右、当知行の後、ヶ年を過ぎば、（中略）理非を論ぜず改替に能はず。（以下、略）
- a. ①右大将家 ②卅（三十）
 - b. ①右大将家 ②廿（二十）
 - c. ①將軍家 ②卅（三十）
 - d. ①將軍家 ②廿（二十）
8. この中で後醍醐天皇による倒幕に功績をあげ、後に湊川神社に祀られた河内出身の人物は誰か。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 赤松則村 b. 楠木正成 c. 名和長年 d. 新田義貞
9. 室町時代のこれらの役職に関する記述として正しくないのはどれか。次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 侍所長官は、四職と呼ばれた赤松・一色・土岐・山名の有力守護大名の中から選ばれた
 - b. 侍所は京都の市中警察権を握るようになった
 - c. 政所が扱った幕府の財政は、御料所からの収入、守護・地頭・庶民への臨時の課税、関銭などによってまかなわれた
 - d. 問注所は記録・訴訟文書の管理をおこなった

10. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 勘定奉行の神尾春央は「百姓と胡麻の油はしぼればしぼるほど出る」と述べたと伝えられる
 - b. 徳川吉宗に登用された寺西封元は、『民間省要』という農政建言書を書き上げた
 - c. 徳川吉宗はキリスト教関係以外の漢訳洋書の輸入制限をゆるめ、野呂元丈にオランダ語の習得を命じた
 - d. 徳川吉宗は諸大名や商人に買米令や廻送制限令を出し、米の公定価格を決め、米価の下落を抑えようとした
11. 下総国で、藩主による重税を將軍に訴え出たとされる人物は誰か。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 佐倉惣五郎 b. 佐野政言 c. 長谷川平藏 d. 礫茂左衛門

Ⅱ. 次の文1～3を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしろせ。

1. 「家」の内部の女性の暮らしを知るにあたって、日記など本人の書き記したものは重要な史料である。たとえば、羽曳野市古市に存在した西谷家には、さくという女性の記した日記が保存されていた。西谷家は、1770年代に身を起こしたとみられる商家だが、さくが生まれたのは、天保の改革の最中の1842年であった。天保の改革は、庶民の風俗に対する厳しい取締りや、江戸に流入した貧民の帰郷を強制する（イ）¹⁾の法、株仲間解散などで知られる。さくが日記をつけはじめたのは、家長である父が亡くなってしまった年、さくが19歳の時からである。西谷家は塩、粕、米、²⁾その他を取り扱う商売をおこなっていたが、父の死後はさくが商売の切り盛りを担ったことが日記からは見て取れる。一方、さくは農業経営の面でも役割を担い、小作人との交渉の矢面にたつことがあった。また、男の兄弟がいなかったさくは婿養子をむかえたが、西谷家は婿の不行跡を理由にこれを離縁³⁾し、その後、別の男性を婿養子にむかえている。江戸時代には、『大和本草』の著者として知られる儒学者（ロ）⁴⁾が著した『和俗童子訓』をもとにして書かれたと推測される女訓書などで、舅姑や夫に従順な女性像が推奨されていた。しかし、さくの人生はそのような女性像とは必ずしも一致していない。

さくがわずか21歳で死去した後の西谷家では、その母へいが「家」を支えたが、へいは宗教に救いを求めることがあった。この時期にはいくつもの民衆宗教が起こり、人々の心をとらえたが、その1つに（ハ）の創始した天理教がある。1867年には、御蔭参りで知られる（ニ）神宮のお札が降ったということで、翌年にかけて民衆の「ええじゃないか」の乱舞が起こった。へいの書き残したものによれば、この時西谷家にもお札が降ったとされている。

2. 近代の家庭における主婦の役割を示した史料の1つに、1911年に『婦人之友』という雑誌に掲載された「若き主婦の一日」と題する写真がある。そこでは、家事育児を担う⁵⁾規律正しい主婦の一日が描かれており、モデルとなったのは、1890年に生まれ、高等女学校で良妻賢母教育を受けた三宅やす子という女性だった。1890年といえば、民法が公布された年であるが、これに対しては翌1891年に穂積八東が「民法出て（ホ）亡ぶ」と主張するなど論争がおき、施行は延期された。修正されて公布された新民法は、男女の地位が著しく不平等なものであった。一方、「若き主婦の一日」が掲載された1911年は、なに不自由ない家庭の妻ノラの家出を描いた『人形の家』が文芸協会によって、（ヘ）の主演で上演されて脚光を浴びた年であった。後にやす子自身が書いた文章

によれば、実はやす子も自身の家庭に不満を抱えていたことがわかる。夫の話の唯一の聞き手に徹し、自己を滅却しなければ家庭を維持して行くことが難しいこともあったと彼女は記している。第一次憲政擁護運動の起こった1912年、やす子は長女を出産した。その後やす子は妻としてよりも母としての役割に熱心に取り組み、後に自身の子育て論を著した。やす子が男の子を出産した1918年は、鈴木三重吉による子ども向け雑誌『(ト)』が創刊された年でもあった。

一方、夫の三宅恒方も不満を抱えていたようである。東京帝国大学を卒業した昆虫学の研究者だった恒方は、研究に没頭することを望みながらも、農商務省の技師などを勤めなければならなかった。一家の唯一の稼ぎ手として、家族を扶養する必要があるからであり、彼は役所勤めに多くの時間を奪われることに不満を抱いていた。

3. 吉原幸子が幼年期に記した日記は、当時の中流家庭の模範的な児童と軍国主義教育との関係を知ることでできる史料である。1932年に東京の銀行員の家庭に生まれた幸子は、小学校1年生から日記をつけ始めた。1930年代には、河合榮治郎が、その著作『(チ)批判』などの発禁処分を受け、東京帝国大学を休職処分にされたように、学問・教育の場での言論統制が進んだ。1941年には小学校も国民学校に改められたが、幸子は成績優秀な児童であるとともに、家庭でも手伝いをきちんとおこなう子どもで、日記には、忠義な兵隊さんに報いるためにもがんばらなくてはならないといった趣旨の文章が記されている。

1940年代には横浜事件が起こったように、言論・思想の自由は一層厳しく弾圧され、新聞などへの情報統制も強まったが、幸子は新聞を読んで戦況に関する感想を記していた。アジア太平洋戦争勃発後、日本は東南アジアを中心に広大な地域を占領下におき、この戦争を「大東亜共栄圏」建設のための「聖戦」であると宣伝するようになった。その後、1945年5月のドイツ軍降伏を新聞で知った日の幸子の日記には、今後日本は東洋の盟邦とともに、全世界と戦わなければならないといった趣旨のことが書き記されている。その他、カイロ宣言について悔しがるとの記述も見られた。

ところが、1946年に疎開先から帰京して学校に復学した幸子は、翌春、日記を書くことをやめた。後に幸子は、終戦を境とする大人たちの急激な変化に問題を感じたと言及している。長じて詩人となった幸子は、新安保条約をめぐる60年安保闘争がおこなわれていた時期に、自らの幼年期を題材に詩集をまとめ、1964年に出版している。また、1980年代には、幼年期を振り返って、自分の「いい子振り」は軍国教育と微妙に照応していたと批判的にとらえた。1985年には、(リ)が首相として靖国神社を公式参拝して、中国や韓国などから批判を浴びた。

A. 文中の空所(イ)～(リ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～15)にそれぞれ対応する次の問1～15に答えよ。

1. これに関する記述として正しくないのはどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 江戸に200軒以上あった寄席が大幅に減らされた
- b. 歌舞伎の江戸三座を浅草のはずれに移転させた
- c. 喜多川歌麿が政治批判の錦絵を制作して処罰された
- d. 人情本の作者為永春水が処罰された

2. 江戸時代のこれに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 大坂では堂島で米市場が発展した
- b. 蔵元は年貢米の保管・管理をおこなったが、販売はおこなわなかった
- c. 脱穀は踏車を使っておこなわれるようになった
- d. 水呑百姓はその所持する石高の40～50%を米穀などで領主におさめた

3. これに関連して、江戸時代には数々の農書がしるされた。大蔵永常の書いた農書はどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。

- a. 清良記
- b. 農業全書
- c. 農具便利論
- d. 老農夜話

4. これに際して江戸時代には離縁状（三行半）が作成された。次の史料は、離縁状の一例である。この史料から読み取れる内容として正しいのはどれか。下記の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。

離別状一札之事

一、貴殿娘仲人を以貰請候処、
 此度双方勝手ニ付離別致候、
 此末何方に相片付候共、此方一切
 構無し之候、如レ件

寅極月
 高砂や
 金右衛門殿

いせや
 嘉七

行田市郷土博物館収蔵

- a. 高砂や金右衛門がいせや嘉七にあてたものである
- b. 高砂や金右衛門の娘が今後どこへ嫁に行こうと干渉しない
- c. 高砂やの都合によって離縁することとなった
- d. 高砂やは仲人を立てていせや嘉七の娘を嫁にもらった
5. 1920年代に創刊されたのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 週刊朝日 b. 白樺 c. 太陽 d. 中央公論
6. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 第3次桂内閣に対して、立憲国民党の尾崎行雄らが倒閣運動をおこした
- b. 第3次桂内閣は、海軍にからむ汚職事件で国民の批判を浴びて退陣した
- c. 第3次桂内閣は、2個師団を増設して民衆の批判を浴びた
- d. 第3次桂内閣への不信任案が議会で提出され、民衆が議会を包囲した

7. これに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 駒場農学校を開設した
 - b. 第 1 回内国勸業博覧会を開催した
 - c. 地方改良運動の中心的な担い手となった
 - d. 労働者の状態を調査した『職工事情』をまとめた
8. これに関連する1940年代の出来事として正しくないのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 空襲に備えて学童の集団疎開がおこなわれた
 - b. 国民学校は「皇国の道」に基づく錬成を目的とした
 - c. 子ども向け漫画「のらくろ」の連載が『少年倶楽部』で始まった
 - d. 子ども用の愛国イロハカルタが発行された
9. これについての記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 石川達三が著した『生きてゐる兵隊』が発禁処分を受けた
 - b. 大本教、ひとのみち教団が、反国体的であるとして解散させられた
 - c. 『改造』の記者らが共産党再建を謀議したなどの虚偽の容疑で検挙された
 - d. 反ファッショ人民戦線を企画したとして、加藤勘十らが検挙された
10. これに関する次の出来事 a～d のうち、もっとも古いものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、以下同じように iv まで年代順にマークせよ。
- a. ガダルカナル島への米軍の上陸開始
 - b. 米軍による硫黄島占領開始
 - c. ミッドウェー海戦
 - d. レイテ島への米軍の上陸開始
11. これに関連して、1940年代に日本がアジア諸国に対しておこなったことに関する記述として正しいのはどれか。次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 大東亜会議を開催し、日本の植民地である台湾の独立を認めた
 - b. 朝鮮では、志願兵制は導入したが、徴兵制は導入しなかった
 - c. 東南アジアの占領地域で日本語の学習を強要した
 - d. 満州国では、秦緬鉄道工事における強制労働により、連合軍捕虜・労働者が数万人死亡した

